

番 号 : 140992

国 名 : エチオピア

担当部署 : 社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ第二チーム

案件名 : アディスアベバ市道路維持管理能力向上プロジェクト詳細計画策定調査 (評価分析)

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析
- (2) 格 付 : 3号~4号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2015年1月上旬から2015年3月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.60M/M、現地 0.53M/M、合計 1.13M/M
- (3) 業務日数 : 準備期間 7日 現地業務期間 16日 整理期間 5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 12月10日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は
郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも
提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約(単独型)公示案件(再公示含む)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細については当機構ホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」(http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html))をご覧ください。なお、当機構本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等 :
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
 - (2) 業務従事者の経験能力等 :
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点
- (計100点)

類似業務	各種評価分析
対象国/類似地域	エチオピア/全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 : 特になし
- (2) 必要予防接種 : 黄熱

6. 業務の背景

エチオピアの首都アディスアベバ市は、アフリカ連合(AU: African Union)本部や国連アフリカ経済委員会(UNECA: United Nations Economic Commission for Africa)の本部を擁し、アフリカ政治外交の中心地でもある。近年好調なエチオピア国経済を背景にアディスアベバ市も成長し、都市化・モータリゼーションが急速に進んでいるが、市内では道路整備が遅れていることに加え、大規模・中規模輸送のための公共交通機関が不足し、乗り合いバス(ミニバス)によるトリップが主となっているため、慢性的な交通渋滞が深刻化している。また、交差点での不適切な交通制御(信号の未設置、容量不足のラウンドアバウト等)、バスターミナル・バス停の未整備、品質の低い道路維持管理、道路排水の欠陥による雨季の冠水とそれを原因とする道路状態の悪化、劣悪な運転マナー等が渋滞を深刻化させる原因となっている。特に、市内の舗装道路は技術レベルの低いまま応急的な補修を実施している状況にある。

エチオピアの国家開発計画である「成長と移行計画」(GTP: Growth and Transformation Plan; 2010/11-2014/15)においては、道路を含むインフラの拡大・維持が貧困削減に貢献する点が挙げられている。これらの経緯もあり、現在アディスアベバ市内では、中国企業により道路建設や市内道路の改良工事、交差点改良工事が実施されているが、市内道路の維持管理に関する協力は実施されていない。

我が国は、対エチオピア国別援助方針で「インフラ整備」を重点分野の1つとして掲げており、JICAは2012年、将来の技術協力案件の形成に資することを目的に「アジスアベバ市都市交通情報収集・確認調査」を実施した。同調査では、「土地利用と交通施設のアンバランス」「都心部交通管理の不在」「道路メンテナンスの不備」「交通安全、交通環境の等閑」「公共交通の整備」の5点が課題として挙げられたほか、これらに対応する協力の1つとして、道路維持管理に関する技術協力プロジェクトの実施が提案されている。

このような状況の中、アディスアベバ市道路交通総局道路公社(AACRA: Addis Ababa City Roads Authority。以下、「AACRA」とする)は、2013年8月に道路維持管理能力向上のための技術協力プロジェクトを要請した。本詳細計画策定調査は、上記要請に基づき、エチオピア側関係機関と協議の上、協力コンポーネントの策定を行うものである。

7. 業務の内容

本業務の業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間(2015年1月上旬~1月中旬)

- ① 要請背景・内容を把握(要請書・関連調査報告書の資料・情報の収集・分析)の上、現地調査で収集すべき情報を検討し、エチオピア側関係機関(AACRA等)に対する質問票(案)(英文)を作成する。質問票はエチオピア事務所を通じて事前配布を行う。
- ② プロジェクトのPDM(Project Design Matrix)案、PO(Plan of Operations)案の担当分野関連部分を検討する。
- ③ 現地で実施するワークショップの準備を行う。
- ④ 対処方針会議等に参加する。

(2) 現地派遣期間(2015年1月中旬~2月上旬)

- ① JICAエチオピア事務所等との打合せに参加する。
- ② エチオピア側関係機関との協議及び現地調査に参加する。
- ③ エチオピア事務所を通じてあらかじめ配布した質問票の回収に協力し、分析し、分析結果を団内で共有する。
- ④ 担当分野に関する以下の情報・資料の収集、現状の把握を行う。エチオピア国内には、ア

ディスアベバ市内の道路を管轄するAACRAの他にERA(エチオピア道路公社：Ethiopian Roads Authority)が存在しているが、両機関の連携はほとんど取られていないことから、本調査の中で、関係者分析等を通じてその役割の違いや、プロジェクト実施の際の連携の取り方についても検討する。

ア) AACRAをはじめとした道路維持管理に係る各関係機関の権限・役割、実施体制、意思決定プロセス

イ) 上述各関係機関の組織体制、財政状況

ウ) アディスアベバ市内における他ドナーや国際機関の協力実績、及び予定

エ) エチオピアの開発計画（上位計画）、道路維持管理の実施体制（組織・人員体制、役割分担、予算・財政状況等）による協力と本案件との関連性

⑤ AACRAの職員に対して問題分析のワークショップを行い、プロジェクトの方向性を検討する。

⑥ プロジェクトの基本計画を検討し、担当分野に係るPDM案、PO案の作成に協力する。

⑦ C/Pとの協議で合意された内容について、討議議事録（R/D）（案）（英文）及びミニッツ（M/M）（案）（英文）の取りまとめに協力する。

⑧ 担当分野に係る現地調査結果を団内に共有し、JICAエチオピア事務所等に報告する。

⑨ 評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点からプロジェクトを分析し、事業事前評価表（案）（和文・英文）の作成に協力する。

（3）帰国後整理期間（2015年2月上旬～2月下旬）

① 事業事前評価表（案）（和文・英文）作成に協力する。

② 収集資料の整理・分析（収集資料リスト作成、質問票回答の取りまとめ等）を行う。

③ 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。

④ 担当分野に係る詳細計画調査報告書（案）を作成する。

8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

（1）担当分野に係る詳細計画策定調査報告書（案）（和文）
電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおりです。

（1）航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、JICAより別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地派遣期間は2015年1月10日～1月25日または2015年1月17日～2月1日を予定していません。

本業務従事者は、JICAの調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。すなわち、本業務従事者および道路維持管理団員のみで現地調査を行う期間があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括（JICA）

イ) 協力企画（JICA）

ウ) 道路維持管理（コンサルタント・別途公示）

エ) 評価分析（コンサルタント・本公示分）

③便宜供与内容

JICAエチオピア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- ア) 空港送迎
あり
- イ) 宿舎手配
あり
- ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供
- エ) 通訳備上
なし
- オ) 現地日程のアレンジ
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供
なし

(2) 参考資料

1) 貸与資料

本プロジェクトの要請書を、JICA社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ第二チーム (TEL:03-5226-6951) にて貸与いたします。

2) 配布資料

以下の資料を配布いたします。ご希望の方は、JICA社会基盤・平和構築部運輸交通・情報通信グループ第二チーム (TEL:03-5226-6951) にご連絡ください。

- ・エチオピア国アジスアベバ市都市交通情報収集・確認調査報告書 (2012年)
- ・AACRAへのヒアリング結果

(3) その他

- ①業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②エチオピア国内での活動においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAエチオピア事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとします。